

次期長野県食と農業農村振興計画 南信州地域の発展方向(案)に対する 地区部会及び関係団体等からの意見・提言について

I 次代へつなぐ南信州農業

1 皆が憧れる農業の担い手の確保・育成

意見・提言	発言者等	関連する施策・内容	備考
離農者の遊休施設や機械の情報蓄積しと有効活用、担い手情報のDX化	JAみなみ信州 売木村	I 1 ①新規就農者の確保体制の強化	
研修機関での指導人材の確保が喫緊の課題	JAみなみ信州	I 1 ①新規就農者の確保体制の強化	
職場体験を実施しているが、就職先としての農業を高校生、大学生が考えていけるような機会を設けたい。	高森町	I 1 ①新規就農者の確保体制の強化	
職業として農業を選択できるよう中高生へのアプローチも必要	高坂委員 木下委員	I 1 ①新規就農者の確保体制の強化	
後継者が親の姿を見て希望を持てるよう魅力ある農業を目指してほしい。経営継承した後の支援制度の拡充が必要	宮澤委員	I 1 ①新規就農者の確保体制の強化	
多様な人材では半農半XのXの提案が必要	JAみなみ信州	I 1 ①新規就農者の確保体制の強化	
新規就農者が果樹で就農する研修システムがほしい。果樹のみで就農する者の就農初期の所得確保策が必要。自立後のフォローアップが必要。	松川町、豊丘村、JAみなみ信州	I 1 ①新規就農者の確保体制の強化	
農業参入の企業や法人に支援が必要	原委員	I 1 ①新規就農者の確保体制の強化	
若い農業の担い手組織支援など、担い手育成が課題	下條村	I 1 ②各種研修会による新規就農者や中核的経営体の資質向上	
農業は家族のために頑張れる。婚活支援のための活動ができるといい。	北原委員	I 1 ①各種研修会による新規就農者の資質向上	
地域の農業振興の一翼を担っている兼業や自給的農家といった小規模農家の支援	飯田市	I 1 ②各種研修会による多様な担い手の支援	
定年帰農の推進により荒廃農地の減少につながる	北原委員	I 1 ②各種研修会による多様な担い手の支援	
クラインガルテン（市民農園）の検討	豊丘村	I 1 ②各種研修会による多様な担い手の支援	
他産業並みの雇用体制の構築、農業経営者として農業の魅力の伝え方のスキルの習得が必要	高坂委員	I 1 ③多様な人材の呼び込みによる支え手の確保	

2 新技術や新品種拡大による競争力の強い果樹産地づくり

意見・提言	発言者等	関連する施策・内容	備考
農家が稼げる提案により、生産者、関係機関が一丸となり、 日本なしの産地再生 プロジェクトに取組みたい。改植による樹園地継承の仕組みづくりが必要	古田委員、 下伊那園協、 松川町	I 2①日本なし産地の再構築	
日本なしについて、仕立て方、栽培などの技術を絞らず、「 省力栽培仕立て技術 」として広くとらえたい	JAみなみ信州	I 2①日本なし産地の再構築	
日本なしの 白紋羽対策	豊丘村	I 2①日本なし産地の再構築	
日本なしの品種の新しいシリーズ化	JAみなみ信州	I 2①日本なし産地の再構築	
りんごの県オリジナル品種としては、 りんご3兄弟 を推進	JAみなみ信州	I 2②県オリジナル品種の戦略的拡大	
りんご高密度植・新しい化栽培やなし樹体ジョイント栽培には、 苗木の確保 が課題	JAみなみ信州	I 2②県オリジナル品種の戦略的拡大	
樹園地継承 について、市町村、JAそれぞれが、出し手、受け手の情報を持っており、それらを共有することが必要	JAみなみ信州	I 2③円滑な樹園地継承	
新規就農者への 果樹園の中間管理による園地継承の仕組みづくり	松川町	I 2③円滑な樹園地継承	
ぶどうの品種 はシャインマスカット、ナガノパープル、クイーンルージュを振興	JAみなみ信州、 飯田市、松川町	I 2④ぶどうの産地化	

3 南信州らしさを活かした複合産地の構築

意見・提言	発言者等	関連する施策・内容	備考
きゅうり、アスパラガスの安定生産のための 施設化を引き続き推進	JAみなみ信州	I 3 ①きゅうり・アスパラガスの安定生産	
新規就農には きゅうりと市田柿 の組み合わせが良い。 果樹園の継承 と合わせて推進	豊丘村	I 3 ①きゅうり・アスパラガスの安定生産	
水田での野菜等の高収益作物 への転換のために、 排水対策 が必要	喬木村	I 3 ①きゅうり・アスパラガスの安定生産	
日本一のダリア産地維持 が重要	JAみなみ信州	I 3 ②ダリア生産への支援	
南天 は鳥獣被害が少なく、急斜面でも栽培できる利点あり推進	泰阜村	I 3 ②多品目花き生産への支援	
きのこでは農家の所得確保のために 低コスト栽培の研究	JAみなみ信州	I 3 ③きのこの経営安定	
銘柄肉牛及び豚の振興	JAみなみ信州	I 3 ④信州プレミアム牛肉・銘柄豚など畜産物の生産拡大	
条件不利地、農業者の高齢化への対応、また新規就農者に対応するICT技術、 スマート農業 の更なる普及推進が必要	高森町、阿智村、売木村、喬木村	I 3 ⑤スマート農業技術の導入による省力化や生産性向上の推進	
水稻では、斑点米カメムシ対策を中心とした一等米比率の向上のために ドローンによる防除の仕組みづくり が必要	JAみなみ信州	I 3 ⑤スマート農業技術の導入による省力化や生産性向上の推進	
作業受託している担い手がキャパオーバーで スマート農業 など対策が急務、機器の導入支援	泰阜村	I 3 ⑤スマート農業技術の導入による省力化や生産性向上の推進	
果樹のスマート農業では、ロボット草刈機、ICTは施設の温度管理システムの普及推進	JAみなみ信州	I 3 ⑤スマート農業技術の導入による省力化や生産性向上の推進	
果樹の ゼロカーボン に向けた取組では、せん定枝の炭の鋤込みなどの活用で貢献	JAみなみ信州	I 3 ⑥環境への負荷を低減した持続可能な農業の推進	
たい肥センターの たい肥利用 を支援している。 環境保全型農業 は本人の努力だけでは困難な部分あり、行政の手助けが必要	阿智村	I 3 ⑥環境への負荷を低減した持続可能な農業の推進	
有機農業 の推進を市町村として検討	飯田市、豊丘村	I 3 ⑥有機農業等の持続可能な農業の推進	
有機農業 の里づくりの推進	松川町	I 3 ⑥有機農業等の持続可能な農業の推進	
地球温暖化 の影響により、市田柿などを5～10年後にうまく作れるか不安であり、より一層の 技術向上 や 試験研究 が必要	木下委員、飯田市、高森町	I 3 ⑦気候変動に対応した技術の導入及び経営継続のためのリスク対策の推進	
燃油資材等価格高騰で 農家所得向上 につながる恒久的な対策が必要	高森町、泰阜村	I 3 ⑦経営継続のためのリスク対策の推進	
水活交付金での そばへの支援 、 排水対策 の維持、 交付対象水田の整理 については農家の理解が得られる説明が必要	高森町、下條村	(県では国の責任において、方針に至った経過を農業者の理解が得られるよう丁寧に説明することなどを6月に国に要請)	

II 人と人がつながる南信州の農村

1 皆でつなく豊かな農村

意見・提言	発言者等	関連する施策・内容	備考
人・農地プランの中心経営体の確保、受入体制構築	大鹿村	II 4 ①地域の話し合いにより、守るべき農地と担い手のあり方を明確化	
村民との話し合いを行政主導で進め、農地の集積を図り、集落全体を保全する集落営農を推進する	豊丘村	II 4 ①地域の話し合いにより、守るべき農地と担い手のあり方を明確化し、集落の維持活動を支援	
集落ぐるみの鳥獣被害対策が課題。防護柵設置から10年経過し、山間地の維持管理への支援が必要	泰阜村、豊丘村	II 4 ①地域の話し合いにより、守るべき農地と担い手のあり方を明確化し、野生鳥獣被害対策などを支援	
小規模ほ場は次世代への継承が難しいので、基盤整備が必要。	高田委員	II 4 ①地域の話し合いにより、守るべき農地と担い手のあり方を明確化	
伝統野菜等の産地維持のため、若い担い手への栽培技術等の伝承が必要	売木村、天龍村	II 4 ②伝統野菜などの栽培技術の継承を支援	
茶の新たな担い手確保、技術の継承	天龍村	II 4 ②茶などの栽培技術の継承を支援	
多面的機能直接支払事業は事務の簡素化してほしい	高田委員	II 4 ④農村の多面的機能の維持と活用促進	

Ⅲ 「食」と「農」が つながる南信州

1 リニア新時代 世界に通用する農村交流の体制構築

意見・提言	発言者等	関連する施策・内容	備考
コロナ禍でいちご狩りができず、収益低下を懸念。 新たな販路開拓 として、 商談会への参加 を促す	喬木村	Ⅲ5①つながり人口増加を見据えた「観光+農業」の推進	
農家民宿 の支援	阿南町	Ⅲ5①つながり人口増加を見据えた「観光+農業」の推進	
果樹園の中で食事がとれる 農家レストラン を検討	松川町	Ⅲ5①つながり人口増加を見据えた「観光+農業」の推進	
昼神温泉 での、 地元農畜産物の活用 促進	阿智村	Ⅲ5②地域食材等を取り入れた「食」を介した交流の促進	
伝統野菜 の購入機会の拡大、認知度向上、販路拡大、直売所支援 茶、ゆずなど特産物の付加価値向上 ブルーベリー の販路拡大	下條村、天龍村、泰阜村、大鹿村	Ⅲ5②伝統野菜など地域食材等を取り入れた「食」を介した交流の促進	
南信州牛 の推進	飯田市	Ⅲ5②南信州牛など地域食材等を取り入れた「食」を介した交流の促進	
付加価値向上のための GAP取得推進	泰阜村	Ⅲ5③食品企業との連携による地域農産物の活用を促進	
世界情勢に左右されないように、国産小麦の増産など 地消地産 の施策が必要	北原委員	Ⅲ5③食品企業との連携による地域農産物の活用を促進	
食品企業連携による生産振興 を支援	阿南町	Ⅲ5③食品企業との連携による地域農産物の活用を促進	
農産加工は原材料を契約栽培で依頼しないと調達が困難なので、 原材料の確保 にも目を向けてほしい	河合委員	Ⅲ5③食品企業との連携による地域農産物の活用を促進	

2 食や農への理解醸成

意見・提言	発言者等	関連する施策・内容	備考
学校給食への県産食材 の提供を通じ、子どもに食への関心、食の大切さを啓発する必要	小澤委員	Ⅲ6①教育現場との協働による食育・農育の強化	
学校給食で地域食材 を安定的に使うため、 栄養士との連携 を強化	飯田市	Ⅲ6②地域農産物などの利用を促進	
学校給食で地域食材 を安定的に使うため、 発注・集荷・生産を一貫して担う人 を配置して実現できないか	高坂委員	Ⅲ6②地域農産物などの利用を促進	